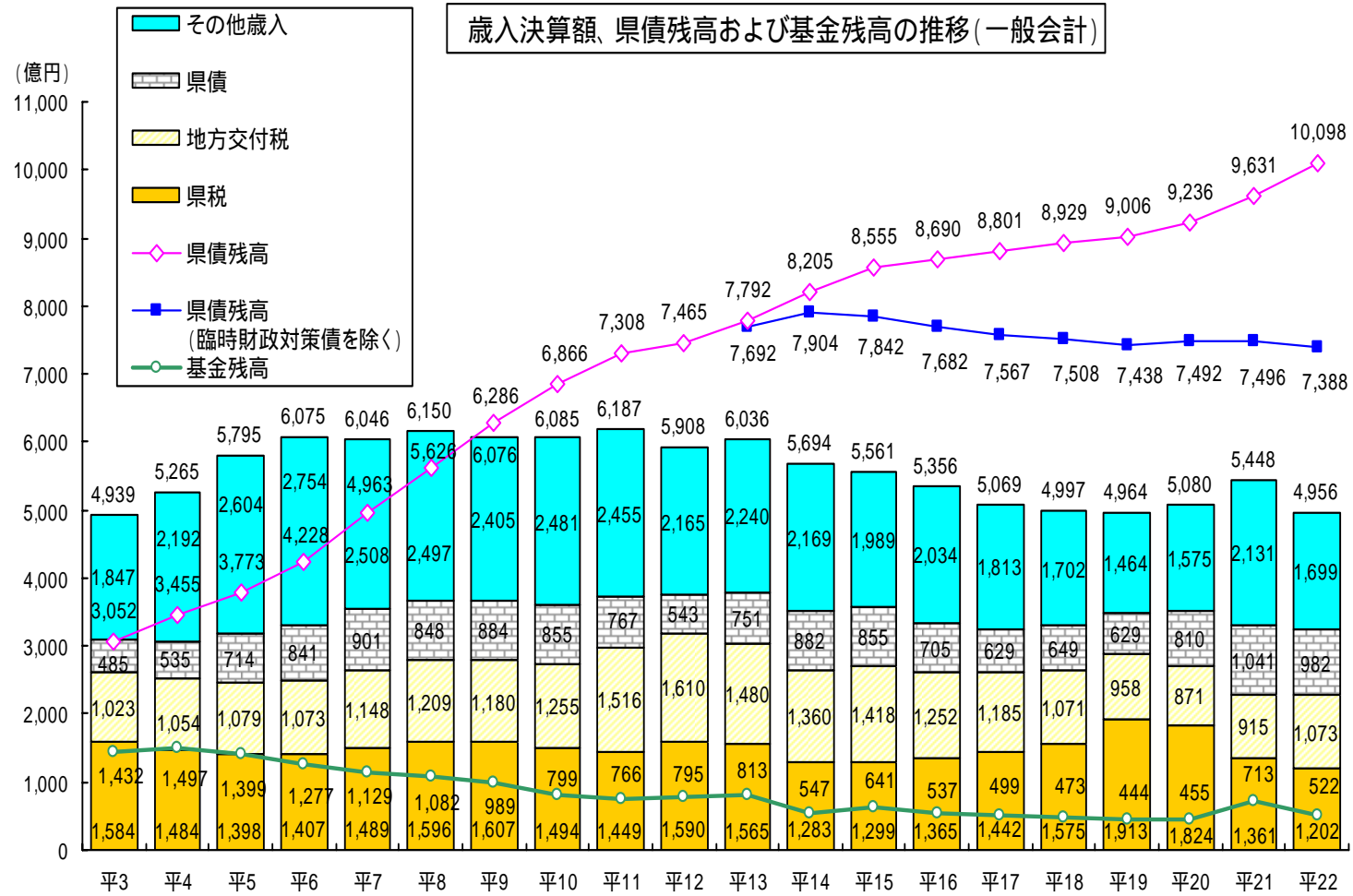


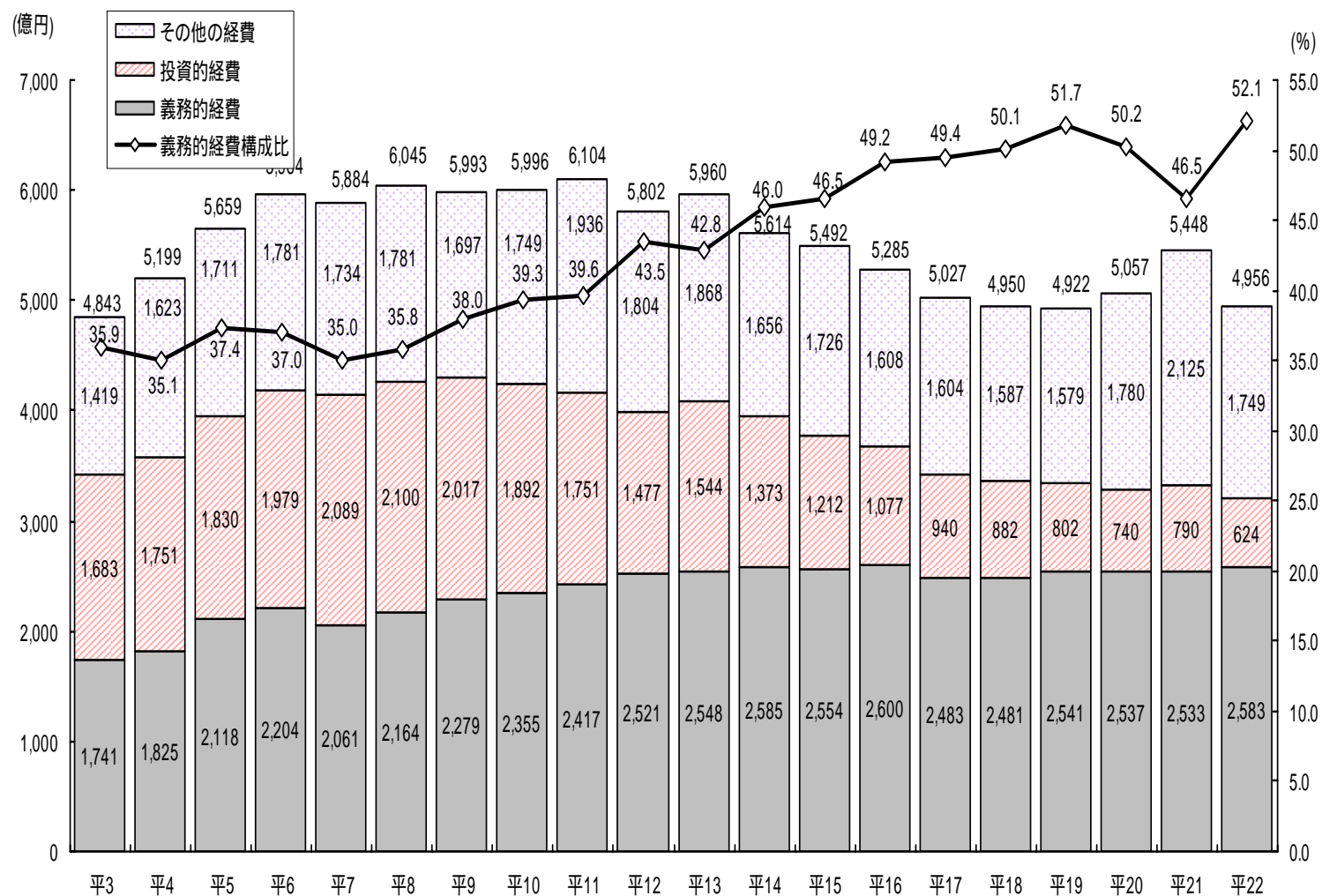
県財政の動向 (歳入)



- (注) 1 県債については、借換債を除いています。
 2 平成20年度までは決算額、平成21年度は最終予算額、平成22年度は平成22年2月補正後予算額です。
 3 基金残高は各年度末現在高であり、平成21年度は最終予算額、平成22年度は平成22年2月補正後予算額に基づく各年度末現在高見込額です。
 4 県債残高は各年度末現在高であり、平成21年度および平成22年度は見込額です。

県財政の動向 (歳出)

歳出決算額と義務的経費、投資的経費の状況(一般会計)



(注) 1 義務的経費のうち扶助費については市町に対するものを除き、公債費については借換債を除いています。

2 平成20年度までは決算額、平成21年度は最終予算額、平成22年度は平成22年2月補正後予算額です。

直面する課題

県税と地方交付税が大きく減少

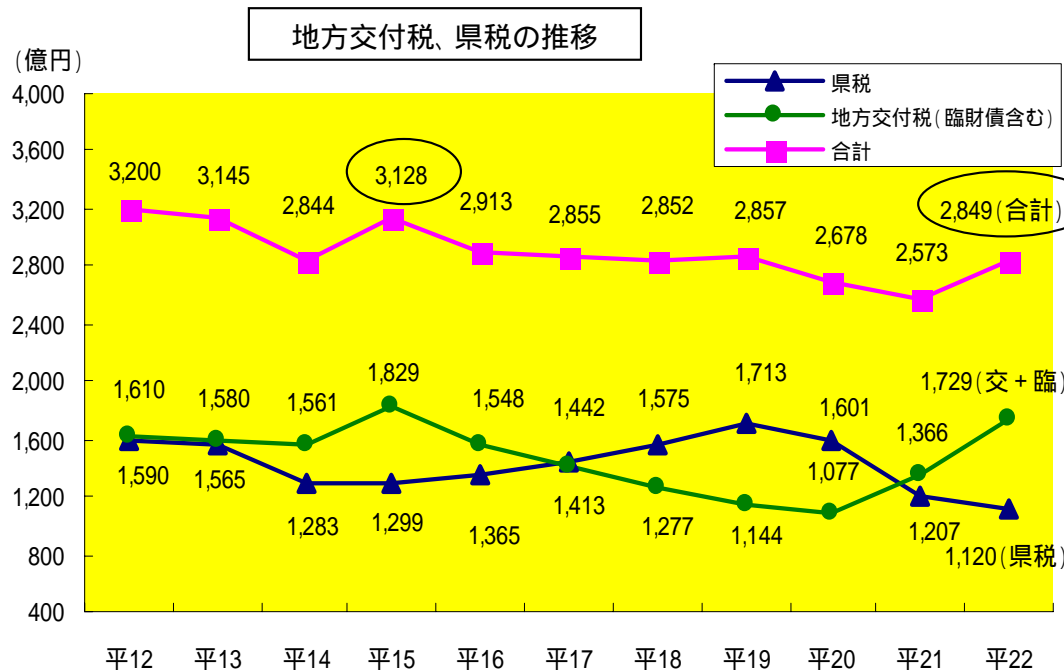
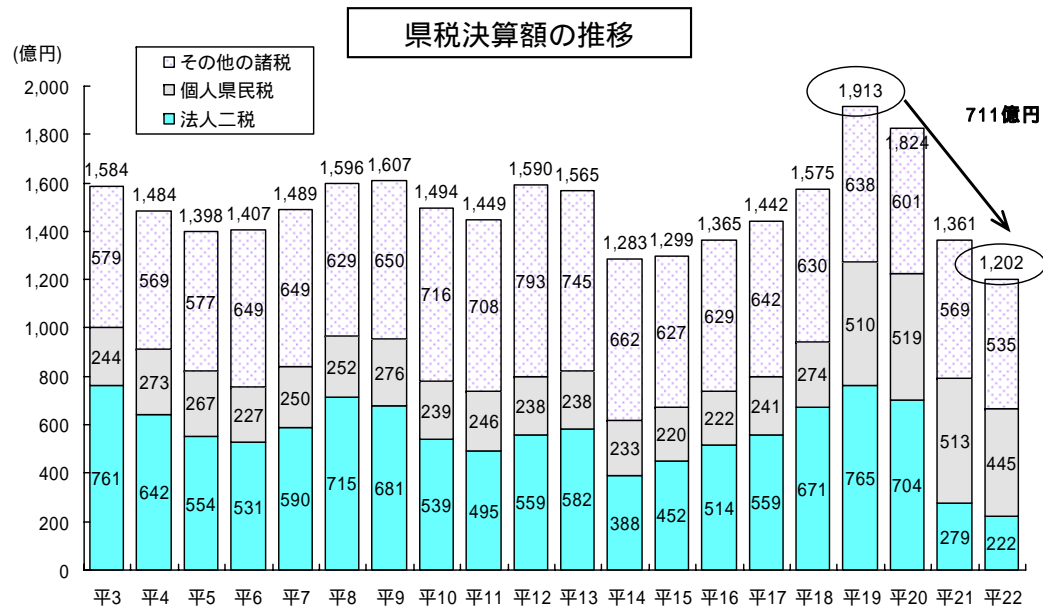
(H19)1,913億円 (H22)1,202億円
711億円の大幅な減

(H15)1,829億円 (H22)1,729億円
増要因があるにもかかわらず100億円減少

- ・主な社会保障費(H16)155億円 (H22)316億円
- ・交付税の公債費(H16)233億円 (H21)287億円

(H15)3,128億円 (H22)2,849億円
279億円の大幅な減

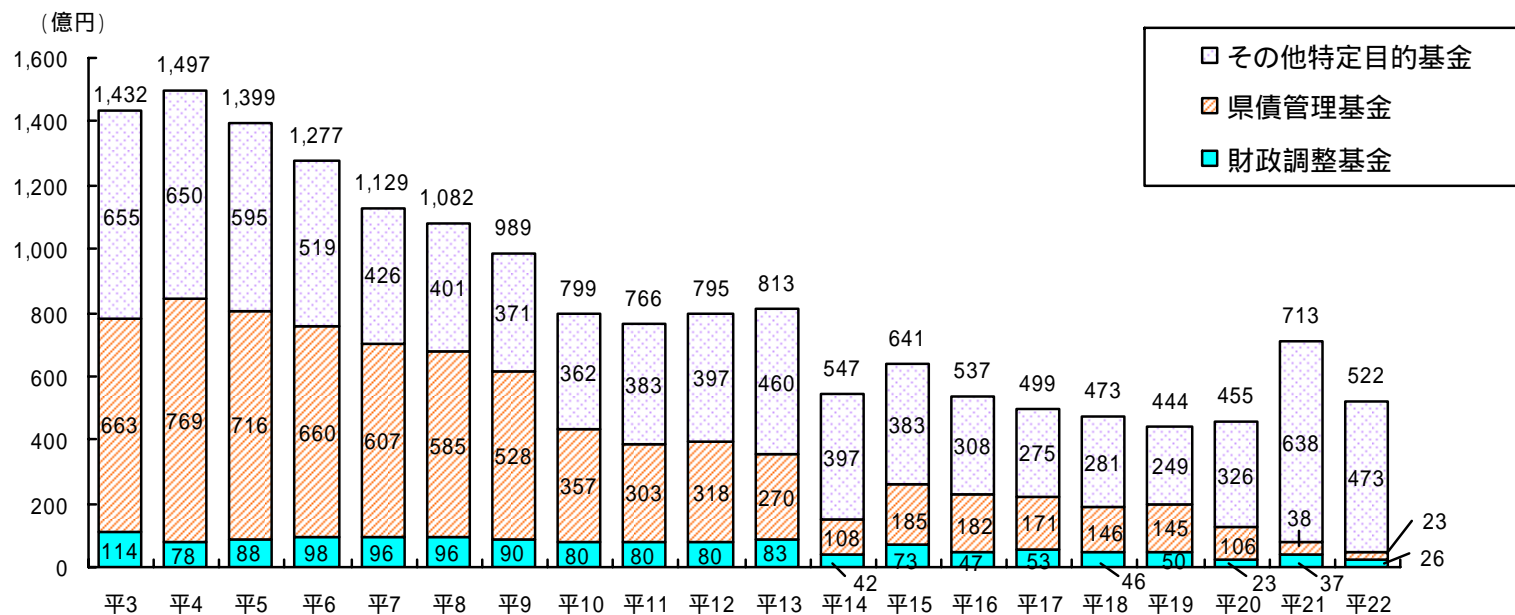
(県税には税源移譲分を除き、地方法人特別譲与税分を含む)



(注) 平成20年度までは決算額、平成21年度は最終予算額、平成22年度は平成22年2月補正後予算額です。

1 県税は、税源移譲分を除き、地方法人特別譲与税を含めています。
2 平成20年度までは決算額、平成21年度は最終予算額、平成22年度は当初予算額です。

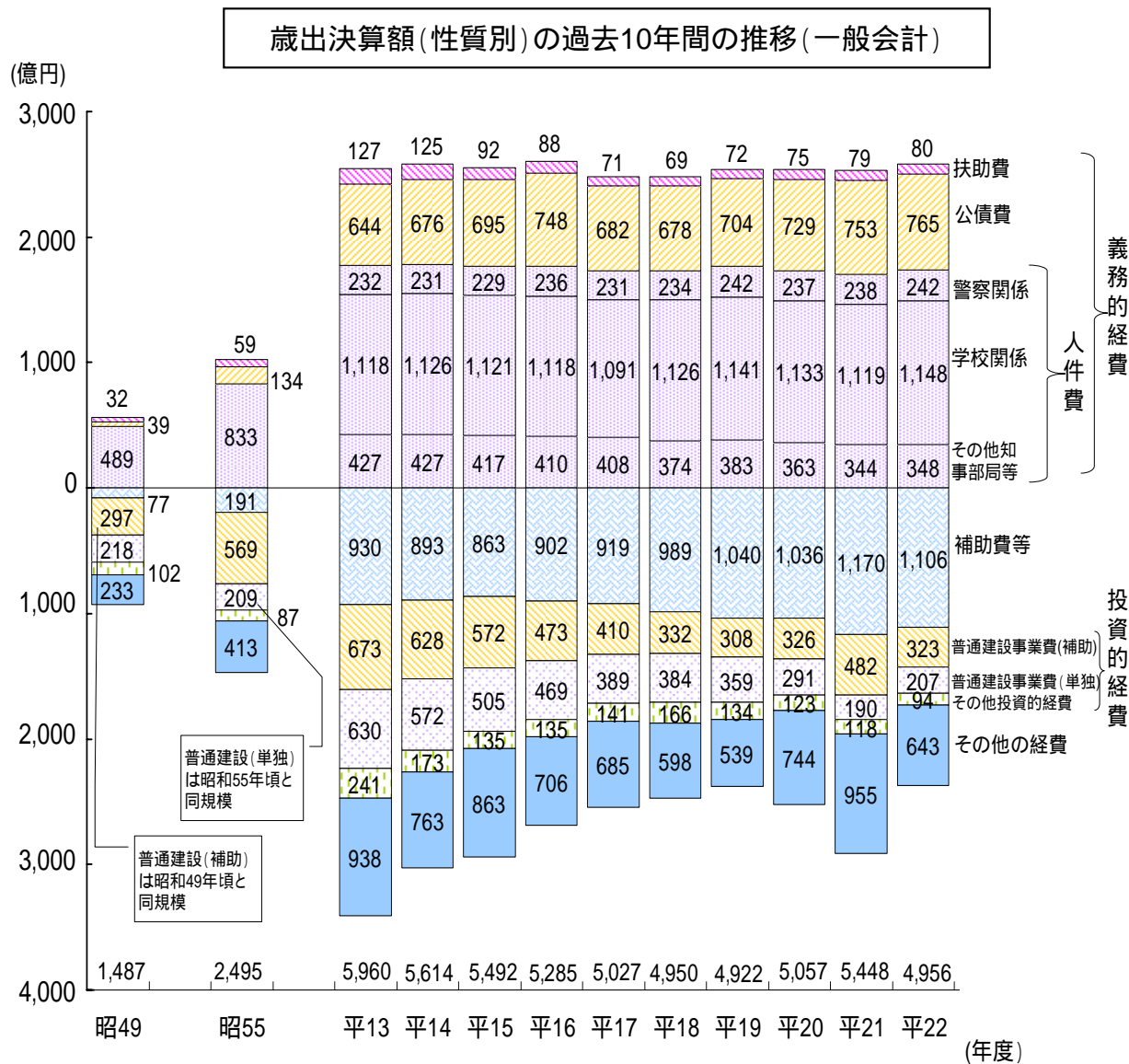
基金残高の推移(一般会計)



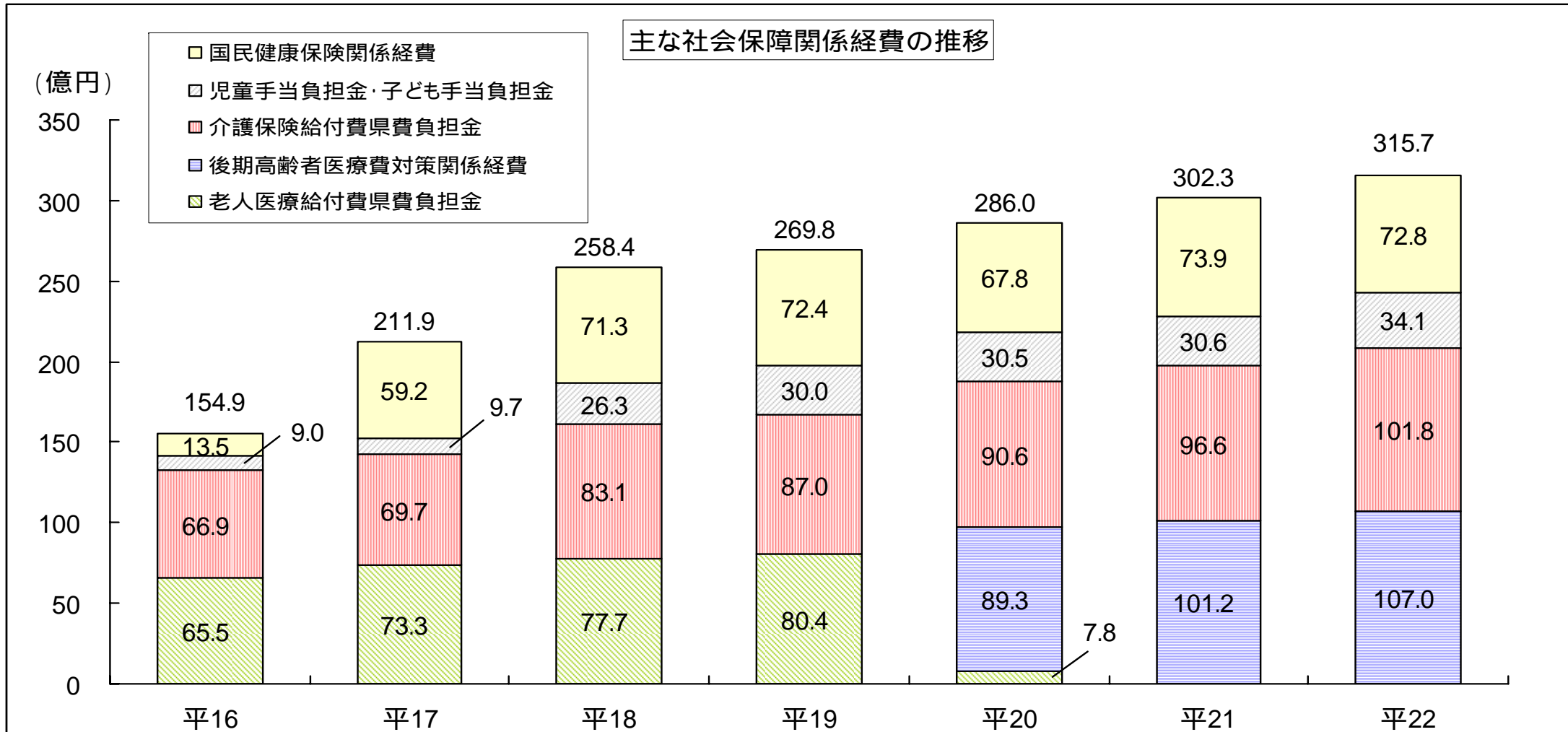
(注) 平成20年度までは、決算に基づく各年度末現在高であり、平成21年度は最終予算額、平成22年度は平成22年2月補正後予算額に基づく各年度末現在高見込額です。

直面する課題

社会保障関係経費や公債費負担が年々拡大



補助費等に分類される「社会保障関係経費」の推移



注1 平成20年度までは決算額、平成21年度は2月補正後予算額、平成22年度は当初予算額です。

注2 「国民健康保険関係経費」とは、国民健康保険調整交付金、国民健康保険基盤安定対策費負担金、高額医療共同事業負担金を計上し、

「後期高齢者医療費対策関係経費」とは、後期高齢者医療給付費県費負担金、後期高齢者医療基盤安定対策費負担金、後期高齢者高額医療費県費負担金を計上しています。

これまでの「財政構造改革」の取組状況（H10年度以降）

